

別記様式第4号（その2）

教 育 研 究 業 績 書		
令和5年5月1日		
氏 名 小 滝 正 孝 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 ① 「総合的な探究の時間」における地域振興に貢献するための課題発見解決学習の実施 ② 「総合的な探究の時間」におけるSDGs達成のための課題発見解決学習の実施	平成31年4月～ 令和2年 令和2年	高校1年次に、橋本市長期総合計画から興味関心のある分野について課題を調べ、5人のグループで解決方法を考えプレゼンテーションを行った。橋本市の協力を得て、最優秀は市長に政策提言を行うことで取組の戦略について評価を受けた。小滝は総合的な探究の時間検討委員会の長として「習得する力」の設定、解決の「戦略」の立て方、プレゼンテーションの方法等全般に亘って指揮した。 高校2年次に、SDGsの目標から興味関心のあるターゲットについて世界を視野に入れて課題解決を図る学習を行っている。小滝は、総合的な探究の時間検討委員会の長として、和歌山大学等の留学生や海外生活経験者から協力を得る体制を作り、日本と世界を比較しながら思考し実践しようとする学習を促している。
③ 科目「国語表現」における参加体験型の活動を取り入れた授業の実施	令和3年9月～ 令和7年3月	和歌山信愛女子短期大学保育科の専門科目「国語表現」を担当し、グループワーク取り入れた参加体験型の授業を実施した。アサーション・トレーニングや分類法をグループで行うことで柔軟な思考を促し、振り返りを充実することで定着を深めた。また、紙芝居の制作や童話創作などを行い、保育者としての実践力の育成に役立てている。
④ 科目「日本語演習」「基礎演習」「基礎演習Ⅰ」における会議の技法を修得する授業の実施	令和3年4月～ 現在	和歌山信愛女子短期大学生活文化学科生活文化専攻の教養科目「日本語演習」「基礎演習」「基礎演習Ⅰ」を担当し、分類法やSWOT分析を用いて、会議の技法を習得するための授業を実施した。身近な地域の課題解決にグループで取り組むことによって、ディスカッションやプレゼンテーションの力を培うとともに、多角的な視点を取り入れ合意形成を目指す意識を高めている。

⑤ 科目「基礎演習」「基礎演習Ⅰ」における情報収集及び広報の知識・技能を修得する授業の実施	令和4年4月～現在	和歌山信愛女子短期大学生活文化学科生活文化専攻、和歌山信愛短期大学生活文化学科ビジネス実践コースの共通教養科目「日本語演習」「基礎演習」「基礎演習Ⅰ」を担当し、本学子育て支援ルーム「木のおうち」を活用した授業を実施した。「木のおうち」の子育て支援活動取材し、案内ポスターの作成に取り組むことによって、情報収集力を培うとともに、相手の立場に立って本質を明確に伝える技能を高めている。
⑥ 科目「プロジェクト実践演習」における課題発見・解決を修得する授業の実施	令和5年9月～現在	和歌山信愛女子短期大学の共通教養科目「プロジェクト実践演習」において、紀の川市の協力を得て、産官学連携の集中講義を実施している。令和5年度は、利用者の減少が進む貴志川線の活性化に取り組み、フィールドワーク・企画会議を重ねる中で「おかしな駅弁」を開発した。授業外でも、紀の川市が行うガバメントクラウドファンディングに協力し、返礼品としての「おかしな駅弁」を完成させた。令和6年度は、紀の川市粉河にリニューアルオープンした旅館「三笠館」への集客に取り組んだ。三笠感の裏山にある竹を利用し、竹でモルックを作成した。こどもも遊べるようルールを開発し、親子向け体験会を開催した。このように、実社会とつながった実践的な学修において、課題発見力・解決力を高めている。
2 作成した教科書、教材 ① 「気づく・学ぶ・広げる人権学習」 ② 「対話ですすめる人権学習」 ③ 「子どもの心によりそって～おとなのための子どもの権利条約～」	平成16年3月 平成19年3月 平成17年7月	本書は、社会教育や学校教育で人権教育を行うための指導者用資料である。人権や人権問題について理解を深められ、学習者の主体性を育むよう参加型学習の教材を多く取り入れた。3章構成で作成に関わった編集委員は27名。小滝は全体を編集するとともに、「活用にあたって」と第Ⅱ章「権利の理解から行動へ」「わたしからはじまる人権」「参加体験型学習の進め方」を分担執筆した。pp4-6、pp16-43、pp104-110 和歌山県教育委員会（総ページ数は136P） 本書は、小中高等学校において人権教育を行うための指導者用資料である。指導計画立案の方法や発達段階に応じた具体的な目標を示し、それを単元目標とした個別の人権課題等についての学習単元例を提示した。3章構成で作成に関わった編集委員は40名。小滝は全体を編集するとともに、「活用にあたって」「指導計画」「学習活動をすすめるために」「参考となる学習活動」を分担執筆した。pp4-12,pp10-22,28,pp30-37,pp107-134 和歌山県教育委員会（総ページ数は142P） 本リーフレットは、保護者等が「児童の権利に関する条約」の根本精神と内容を参加体験型で学ぶことによって、子どもとどう向き合い、関わっていけば良いかを考える教材である。県内全ての小学校の保護者、社会教育施設等に配布。小滝は全体を編集するとともに、「子どもの権利条約とは」について分担執筆した。pp2 和歌山県教育委員会（総ページ数は8P）

3 教育上の能力に関する大学等の評価 ① 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケート結果における評価	令和7年2月	和歌山信愛女子短期大学において 2022 年度に実施された学生による授業評価アンケートの結果によると、小滝が担当の授業「国語表現」「基礎演習Ⅰ」「教育原理」「子どもと言葉」は、各項目 4.3～5.0 点と高い評価を得ており、学生の満足度が高い結果となっている。
4 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 「新任教頭研修」における講師 ② 「新任教頭研修」における講師 ③ 「白友会」研修における講師 ④ 「白友会」研修における講師 ⑤ 「紀伊コスモス支援学校人権研修」における講師 ⑥ 「東牟婁教頭会研修」における講師 ⑦ 「教育実習事前指導」における講師 ⑧ 「和歌山県公立幼稚園・こども園 PTA 連合会指導者研修」における講師	平成 29 年 5 月 平成 30 年 5 月 平成 29 年 10 月 平成 30 年 10 月 平成 24 年 8 月 平成 30 年 2 月 令和 3 年 1 月～現在 令和 5 年 9 月	県教育委員会主催の「新任教頭研修」において講師を務め、県内公立小中高等学校及び特別支援学校の新任教頭に対して、「管理職の在り方」について講義を行った。(1 回 1 時間) 県教育委員会主催の「新任教頭研修」において講師を務め、県内公立小中高等学校及び特別支援学校の新任教頭に対して、「管理職の在り方」について講義を行った。(1 回 1 時間) 白友会（高等学校退職校長の会）において、「和歌山県の教育についての課題や取組」について講演を行った。(1 回 50 分) 白友会（高等学校退職校長の会）において、「和歌山県の教育についての課題や取組」について講演を行った。(1 回 50 分) 紀伊コスモス支援学校の現職教育において講師を務め、「コミュニケーションの取り方」について、アサーショントレーニングやパペットを用いて講義を行った。(1 回 1.5 時間) 東牟婁地方教頭会の研修において講師を務め、「管理職としてのビジョン」「やる気を促す人事管理」について講義を行った。(1 回 1.5 時間) 大谷大学における「教育実習事前指導」の授業において講師を務め、特別支援教育の観点からの授業、主体性を育む指導の在り方について講義を行った。(年 1 回 1.5 時間) 和歌山県公立幼稚園・こども園 PTA 連合会の指導者研修会において講師を務め、「自分も相手もたいせつにするさわやかな気持ちの伝え方」、「子どもへの言葉がけ」について講演を行った。(1 回 1 時間)
5 その他 ① きのくにコミュニティスクール推進協議会委員 ② 和歌山県読書バリアフリー協議会委員 ③ 岩出市社会教育委員	令和元年 7 月～令和 2 年 3 月 令和 4 年 9 月～現在 令和 7 年 4 月～現在	和歌山県教育委員会が設置するコミュニティスクール推進協議会の委員に任命され、県内のコミュニティスクールの活性化の為の取組について意見を述べた。(年 3 回開催) 和歌山県教育委員会が設置する読書活動バリアフリー推進協議会委員長を委嘱され、「和歌山県読書活動バリアフリー推進計画」を取りまとめた。(年 3 回開催) 岩出市教育委員会が設置する社会教育委員を委嘱され、市の社会教育推進計画について意見を述べている。(年 5 回開催予定)
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事項	年 月 日	概 要

名前

1 資格、免許 ① 小学校教諭一級普通免許状 ② 中学校教諭一級普通免許状 国語 ③ 高等学校教諭二級普通免許状 国語 ④ 社会教育主事資格	昭和 59 年 3 月 31 日 昭和 59 年 3 月 31 日 昭和 59 年 3 月 31 日 平成 8 年 2 月	兵庫県教育委員会発行 兵庫県教育委員会発行 兵庫県教育委員会発行 国立社会教育研修所発行
2 特許等 ① ②		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 「わかやまことばの探検隊 報告書」 ② 「高校生よみかたりボランティア事業報告書」 ③ 「人権教育学習プログラム―事例集―」	平成 19 年 3 月 平成 19 年 3 月 平成 19 年 3 月	本書は、中高校生 48 名が和歌山の方言の調査研究に取り組み、その結果と方言を調べる方法等をまとめたものである。3 章構成で、小滝は全体を編集するとともに、「わかやまことば探究セミナー」を分担執筆した。Pp3-6 和歌山県教育委員会（総ページ数は 126P） 本書は、高校生を対象に、絵本の読み聞かせボランティア養成講座を県内 7 会場で開催し、その養成講座の内容と、実際に読み聞かせ活動を行った活動の記録である。小滝は全体を編集するとともに、「概要紹介」を分担執筆した。pp1-6 和歌山県教育委員会（総ページ数は 67P） 本書は、小中高等学校において人権教育を行うための指導者用資料である。発達段階に応じた具体的な目標と個別の人権課題等についての学習単元例を提示した。作成に関わった編集委員は 25 名。小滝は高等学校の部分に協力した。pp40-52,pp98-117 和歌山県教育委員会（総ページ数は 125P）
4 その他 ① きのくに ICT 教育プロジェクトリーダー	平成 29 年 10 月 ～平成 31 年 3 月	プロジェクトチームの長として、小中高等学校におけるプログラミング教育と情報活用能力育成のカリキュラムづくりと体制整備を行った。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 2 3				
(学術論文) 1 「絵本の読み聞かせの指導についての一考察」	単著	令和4年3月	信愛紀要第63号	子どもの言葉の発達を考える上で、絵本は欠かせない児童文化財である。本研究は、絵本の読み聞かせについて、保育者の養成学校で用いられるテキスト、教育実習での指導教官からの指導・助言及び学生の課題意識を分析した上で、学生への指導の在り方の提案を行ったものである。 教員養成の水準確保のため、「教職課程コアカリキュラム」において学生が修得すべき資質能力が示された。本稿は、同コアカリキュラムに基づき、教職課程「教育の基礎的理解に関する科目」の内容「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」について、修得すべき内容を概観し、保育者を目指す学生が自らの教育観を身につけるための留意点の提示を行ったものである。 教員養成の水準確保のため、「教職課程コアカリキュラム」において学生が修得すべき資質能力が示された。本稿は、同コアカリキュラムに基づき、教職課程「教育の基礎的理解に関する科目」の内容「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」について、修得すべき内容を概観し、保育者を目指す学生が自らの教育観を身につけるための留意点の提示を行ったものである。
2 「教職科目内容『教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想』に関する一試論」	単著	令和5年3月	信愛紀要第64号	
3 「教職科目内容『教育に関する社会的、制度的又は経営的事項』に関する一試論」	単著	令和5年3月	信愛紀要第64号	
(その他) 1 「きのくに ICT 教育 小学校プログラミング教育 学習指導案集」	共著	平成31年3月	和歌山県教育委員会	本書は、小中高校で体系的なプログラミングを行うために県独自で開発した小学校教材の指導案である。小滝は、プロジェクトリーダーとして編集に携わった。 (総ページ数は 130P) 本書は、小中高校で体系的なプログラミングを行うために県独自で開発した中学校教材の指導案である。小滝は、プロジェクトリーダーとして編集に携わった。 (総ページ数は 83P) 本書は、小中高校で体系的なプログラミングを行うために県独自で開発した中学校教材の指導案である。小滝は、プロジェクトリーダーとして編集に携わった。 (総ページ数は 87P)
2 「きのくに ICT 教育 中学校プログラミング教育 学習指導案」	共著	平成31年3月	和歌山県教育委員会	
3 「きのくに ICT 教育 高等学校〈共通教科情報科〉プログラミング教育 学習指導	共著	平成31年3月	和歌山県教育委員会	

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
4 「教職員のための不登校対応マニュアル」	共著	平成31年3月	和歌山県教育委員会	本書は、児童生徒の登校を支えるため、初期対応、不登校児童生徒への対応、再登校支援について、教職員の指導のあり方をまとめたものである。小滝は編集に携わった。(総ページ数は 14P)
5 「和歌山県幼児教育推進計画」	共著	平成31年4月	和歌山県教育委員会	本書は、子どもたちが健やかに成長するよう、各園・所での保育の質の向上、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続等を推進するための具体的な内容を示したものである。4章構成小滝は全体の編集に携わった。(総ページ数は 62P)